

令和3年度 名古屋高速道路公社 入札監視委員会の結果について

開催日及び場所	令和3年8月26日(木) 名古屋高速道路公社 黒川ビル2階 大会議室	
委員	長谷川 ふき子(委員長 弁護士)・張 鋒(名古屋工業大学教授)・野田 直季(公認会計士) (敬称略)	
審議対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
抽出事案 〔工事〕	総件数 2件	
一般競争入札	(総合評価落札方式) 2件	令和2年度高速都心環状線他舗装修繕工事(第2工区)
		令和2年度高速都心環状線橋梁修繕工事(山王工区)
抽出事案 〔業務〕	総件数 2件	
一般競争入札	(価格競争方式) 2件	令和2年度名古屋高速道路事業説明会等運営支援業務委託
		令和2年度市道高速1号地質調査業務委託(その2)
委員の質問等 に対する回答	質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
講評	①各抽出案件について非常にわかりやすく説明していただいた。 ②いずれの抽出案件も入札の手続が適正に処理されている。	

委員の質問等に対する回答

1) 工事

抽出事案	質問	回答
令和2年度高速都心環状線他舗装修繕工事(第2工区)【一般競争】	落札率が低かった工事 ・落札率が低かった理由を知りたい。	本工事については、総合評価落札方式で、他の4工区の舗装修繕工事と同時に公告しており、同一の者が複数工区を受注することができない条件で発注した。 入札参加した8者について、技術提案等を評価した加算点等を用いて算出した評価値を定めた後、他工区を落札したことによる「無効」や、失格判断基準を下回ったことによる「失格」を除いた者の中から、最も評価値の高い者が受注者になったため、結果的に落札率が低かったものである。
令和2年度高速都心環状線橋梁修繕工事(山王工区)【一般競争】	落札率が100%となった工事 ・落札率が100%となった理由を知りたい。	本工事については、2者から入札参加資格確認申請があったが、そのうち1者は辞退した。 参加した1者が、事前公表していた予定価格と同額で入札したため、結果的に落札率が100%となったものである。

2) 業務

抽出事案	質問	回答
令和2年度名古屋高速道路事業説明会等運営支援業務委託【一般競争】	総合評価落札方式で発注していない業務 ・業務の内容を知りたい。 ・総合評価落札方式で発注していない理由を知りたい。	本業務の内容は、黄金出入口、新洲崎JCT出入口について、都市計画法に基づき公社が行う事業説明会の説明資料(パンフレット、動画等)作成、会場手配などの補助的業務である。 補助的業務であり、業務仕様や業務水準が明確で定型的であることから、入札者の提示する技術等によって、業務成果の品質に相当程度の差異が生じることが期待できる業務には該当しないため、総合評価落札方式で発注していない。
令和2年度市道高速1号地質調査業務委託(その2)【一般競争】	参加者が19者と多かった業務 ・参加者が19者と多かった理由を知りたい。	参加者が19者と多かった理由は、昨今、地質調査業務の発注件数が減少傾向にあり、業者側に受注余力があったと思われること、事前検討等により掘削本数及び業務工程が適切に設定できたこと、公園内等での掘削作業が多く作業条件が比較的良かったこと等から、参加者が多数になったと推察される。